

安全な武道授業のためのチェックリスト

鹿児島県教育委員会

武道は我が国固有の文化であり、その考え方を理解し積極的に取り組むことで、礼法などの伝統的な行動の仕方を身に付け、相手を尊重して攻防ができるようにすることを重視しています。また、武道は中学校で初めて学習する内容であり、新しい学習指導要領ではすべての生徒に履修させる領域になったことから、これまで以上に安全の確保に留意することが必要です。

これからの学習指導では、以下のような配慮等を行い、各種目の事故防止に努めましょう。

武道全般について

- 武道場や体育館に危険な物や不要な物が置かれていませんか。
- 武道場や体育館の温度や湿度、換気の状態は適切ですか。(熱中症対策は十分できていますか)
- 武道の特性や考え方を十分理解させ、相手を尊重し、安全への意識を高めさせる指導を徹底していますか。
- 段階的な指導や運動経験、技能レベル、体重、体格、性差に配慮した指導がなされていますか。
- 生徒同士がぶつからないように配慮するなど、一度に活動させる人数は安全を確保する上で適切ですか。
- 危険な動作や禁じ技を用いないように指導が徹底されていますか。
- 発生しやすいけがや事故について、事例などを用いて生徒に理解させていますか。
- 生徒の体調の変化があったときに、すぐ申し出るようにすることを指導していますか。
- 始業前後、活動中における生徒の様子を見届けていますか。(健康管理、態度等)



剣道

- 床面の破損や汚れ等はありませんか。危険な物や不要な物が落ちていませんか。
- 竹刀に破損やささくれはありませんか。
- 先皮の破れ、中結の位置、弦のゆるみはありませんか。
- 防具に破損はありませんか。

相撲

- 床面の破損、土俵内やその周辺に危険な物や不要な物が落ちていませんか。
- 土俵が崩れたり、ひび割れたりしているところはありませんか。
- 俵の高さは適切ですか。
- 生徒の手足の爪は伸びていませんか。

柔道

- 畳の表面の破損や汚れ等はありませんか。危険な物や不要な物が落ちていませんか。
- 畳は隙間なく敷かれていますか。
- 畳が動いたり、浮き沈みがあったりしませんか。
- 生徒の手足の爪は伸びていませんか。



健康観察のチェックポイント

生徒の健康状態には、授業開始前、授業中、授業終了後と、常に注意を払いましょう。呼吸数や脈拍の観察については、生徒にとって自己の体調を整え、自らその変化に気付く機会となります。また、何か変化があるときは、指導に当たる教員だけでなく、仲間にも相談できる雰囲気作りをしましょう。

全体的な様子

- 疲れている
- だるそうである
- 発熱がある
- 食欲がない
- 吐き気がある
- 意識がなくなる
- めまいがする



症状

- 頭痛がある
- 胸痛がある
- 腹痛がある

呼吸

- 息が荒い
- ため息が多い
- 咳が多い
- ぜいぜいしている
- 肩を上下して呼吸

表情

- 顔色が白い
- 静脈が浮いて見える
- まぶたが腫れている
- 白目の充血

呼吸数チェック **脈拍数チェック**

※気持ち落ち着かせ、集中させる効果もあります！